

# ぶち離島フェア活気 県庁前駅まで

## 9市町村・11島が自信作

県の2008年度離島活性化専門家派遣事業の成果を発表イベント「ぶち離島フェア」が28日、那覇市のゆいレール県庁前駅で始まった。特産品開発に取り組みの取組む9市町村・11島(屋、黒豆ジャム(水納)

エアール島から来たさあ。」特産品開発に取り組みの取組む9市町村・11島(屋、黒豆ジャム(水納)



県内離島で開発された特産品が並び、駅構内が活気にあふれる「ぶち離島フェア」=28日、那覇市・県庁前駅

など島々の個性を生かした商品が並び、各島の担当者が説明に当たっている。

月桃マントなどを開発した「なちゅらる」(北大東村)の大城リエ子代表は「この機会に多くの人々に知ってもらいたい」と期待。久米島物産販売社長の吉田拓郎君(11)は「新商品ノニローションもできたので多くの人に見てもらいたい。今後もどんどん開発してPRしたい」と話した。

地域ツーリズムを目指す久高、粟国、西表、黒島、波照間、与那国の各島の取組みも、パネルなどで紹介している。

開会に先立ち、沖縄都市モノレール社の比嘉良雄社長は「今後も特徴ある製品を生み出し、県民、国民に提供してほしい」と激励。県企画部地域・離島課の館主輔課長は、専門家島々に派遣して「島おこし」を

目指す取組みの経緯を説明した。

# ふち離島フェア開催

きょう、あす 県庁前駅



県離島活性化専門家派遣事業の成果発表イベント「ふち離島フェア2008 in ゆいレール県庁前駅」が二十八、二十九の両日、那覇市の沖縄都市モノレール県庁前駅で開かれる。

専門家の支援を受けて九町村(十一離島)で開発された特産品四十点余を展示・即売する。地域ツurisムの取り組み状況などもパネル展示する。

島のサトウキビを活用した伊平屋の黒糖キャラメルパウンドケーキのほか、水納島からは黒豆シヤム写真、黒豆あんぱんなど豆製品を出品。

成果発表イベントは二十八日が午前八時半、二十九日が同九時から始まる。両日とも午後八時まで。問い合わせはカルテイベイト、電話098(868)3856。



○：県離島活性化専門家派遣イベントの成果を発表する「ふち離島フェア2008 in 県庁前駅」が28日、那覇市の沖縄都市モノレール県庁前駅構内で始まった。入場無料。29日まで。

○：各分野専門家チーム「なんでもお助け隊」の支援を受けた9市町村(11離島)で開発された特産品の販売や地域ツurisムの取り組みを紹介。

○：久米島町、本部町、水納島、伊平屋村、北大東村の住民が月桃マツト、黒豆シヤムなどの新特産品を披露している。